

陽明学便り

◇貴陽（修文）第三屆國際陽明文化節暨陽明學術研討會

二〇〇五年九月十四日—十六日

主催 國際儒學連合・貴陽市委員會

中共貴陽市委員會・貴州省文化庁

会場 中国、貴陽市修文県、珍珠島賓館、修文県文化會館

王陽明が左遷された竜場である貴陽市の修文県において陽明学の國際学会（學術研討會）が行われた。（学会報告を参照してください）

◇二〇〇五年韓國陽明学会國際學術會議（別称「第二屆霞谷學國際會議」）

二〇〇五年一〇月二八日—二九日

主催 韓國陽明学会

後援 江華郡政府・韓國學術振興會・安養大學校

会場 韓國、安養大學校江華分校

主題 「霞谷と江華陽明学派」

韓国、中国等二十二名の研究発表があった。

韓国、中国等二十二名の研究発表があった。

◇龍場と王陽明關係出版物

『王学之魂』（王晓昕・李学友 主編）

『王学之路』（同編集委員會 編）

『王学之思』（右同）

『王陽明在龍場』（修文県弁公室編）

『千古龍岡漫有名』（楊徳俊 編）

『修文陽明洞詩文集注』（朱五義編注）

本書の紹介と短評欄参照

◇中国における陽明学關係論文（主なもの）

○彭国翔「陽明後学工夫論的演變与形態」

『浙江学刊』（2005年一期）『中国哲学』2005年5再録。

○陳立勝「王陽明思想中「悪」之問題研究」

（『中山大學學報』2005年一期、『中国哲学』再録2005年3期）

○楊月清「試論王龍溪的易学哲学」

（『周易研究』2004年6月、『中国哲学』2005年3、再録）

○錢明「王陽明遷居山陰弁考兼論陽明学的發端」（『浙江学刊』2005年1期）

○錢明「儒学」意「範疇与陽明学的」主意「話語」（『中国哲学』2005年第2期）

○『王畿評伝』『聶豹・羅洪先評伝』の書評の紹介。

本書2002年一四号で紹介した呉震著『聶豹・羅洪評伝』及び方祖猷著『王畿』の書評が、京都府大の中純夫教授によって『明代史研究』の第32号に書かれ、参考になるので、紹介しておきたい。

◇昨年の本欄で岡田武彦先生が亡くなられたことを報じたが、先生の追悼文集が刊行されたので紹介したい。

『光風霽月—岡田武彦先生追悼文集—』A5版683頁にわたる大部なもの。写真・墨跡80余頁。内外の先生を追悼する人による百五十篇近くの文と、先生を偲ぶピアノ小品集のCDがついたものである。

◇岡田先生が草稿とメモとして残された『王陽明大伝』（五）が門下生の森山文彦氏の手で完成し、完結しました。本書の紹介欄参照。（疋田啓佑）

『王畿評伝』『聶豹・羅洪先評伝』の書評の紹介。